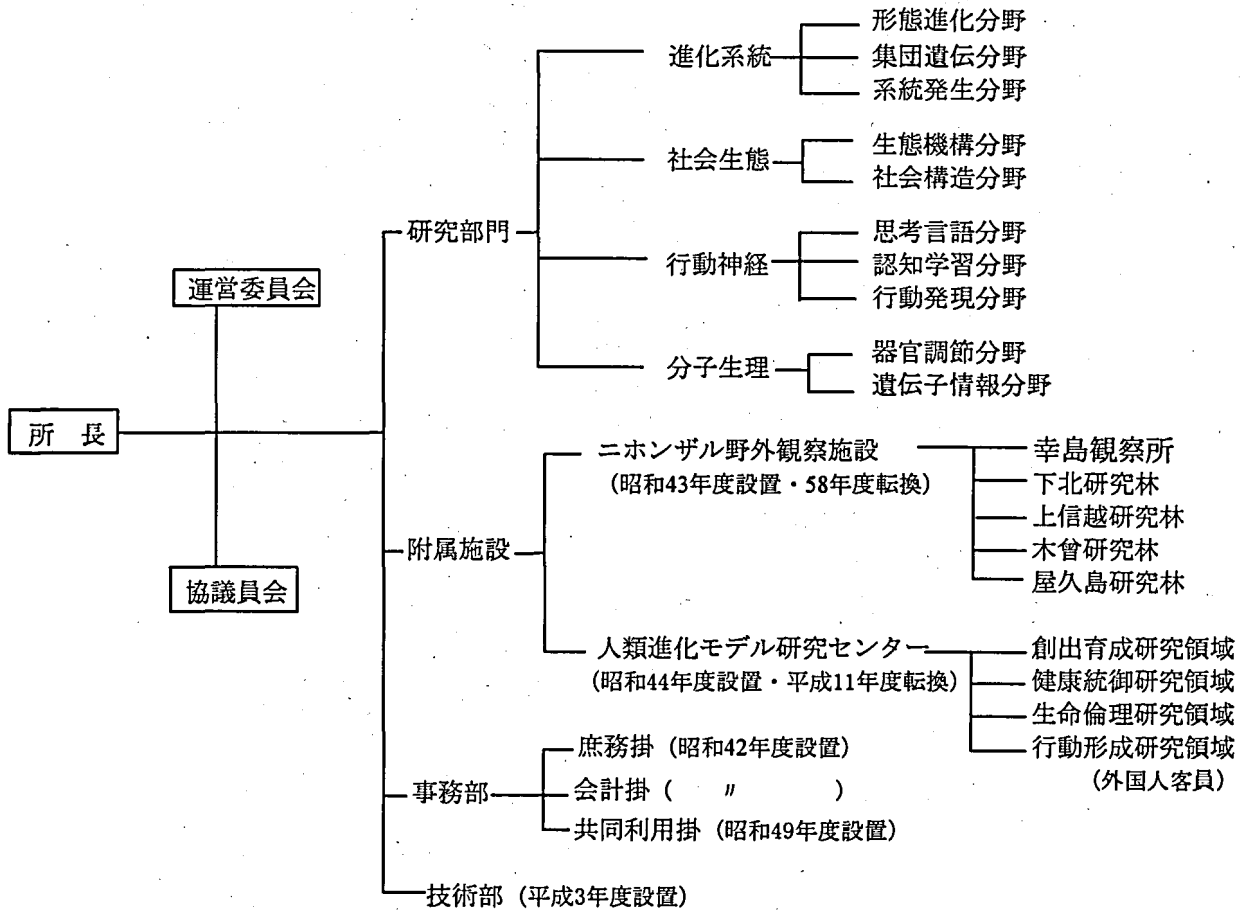


II 研究所の概要

1. 組織

(1) 組織の概要 (2002年(平成14年)3月30日現在)



所長	小嶋 祥三	
運営委員	伊澤 紘生	(宮城教育大学教育学部附属環境教育実践研究センター 教授)
(順不同)	木村 賛	(東京大学大学院理学系研究科 教授)
	杉山 幸丸	(東海学園大学人文学部 教授)
	諏訪 元	(東京大学総合研究博物館 助教授)
	吉川 泰弘	(東京大学大学院農学生命科学研究科 教授)
	石田 英實	(京都大学大学院理学研究科 教授)
	西田 利貞	(京都大学大学院理学研究科 教授)
	茂原 信生	(霊長類研究所 教授)
	竹中 修	(霊長類研究所 教授)
	松沢 哲郎	(霊長類研究所 教授)
事務長	福井 秀昭	

教授	助教授	助手	事務官	技官	小計	非常勤(日々)	非常勤(時間)	合計
12	12	15	9	13	61	2	51	114

博士課程	修士課程	研修員	特別研究員	研究生	合計
22	16	3	6	1	48

(2) 所内連絡先一覧

形態進化分野 Tel/Fax: 0568-61-5775

片山 一道	katayama@pri.kyoto-u.ac.jp
濱田 穰	hamada@pri.kyoto-u.ac.jp
毛利 俊雄	mouri@pri.kyoto-u.ac.jp
國松 豊	kunimats@pri.kyoto-u.ac.jp
早川 清治	hayakawa@pri.kyoto-u.ac.jp
水谷 典子	nmizutan@pri.kyoto-u.ac.jp

集団遺伝分野 Tel/Fax: 0568-62-9554

庄武 孝義	shotake@pri.kyoto-u.ac.jp
川本 芳	kawamoto@pri.kyoto-u.ac.jp
田中 洋之	htanaka@pri.kyoto-u.ac.jp
浄土 啓子	jodo@pri.kyoto-u.ac.jp

系統発生分野 Tel/Fax: 0568-63-0536

茂原 信生	shigehar@pri.kyoto-u.ac.jp
相見 満	aimi@pri.kyoto-u.ac.jp
高井 正成	takai@pri.kyoto-u.ac.jp
本郷 一美	hitomi@pri.kyoto-u.ac.jp
木下 實	kinoshit@pri.kyoto-u.ac.jp

生態機構分野 Fax: 0568-63-0565

上原 重男	uehara@pri.kyoto-u.ac.jp
M.A.Huffman	huffman@pri.kyoto-u.ac.jp
永田 礼子	nagata@pri.kyoto-u.ac.jp

社会構造分野 Fax: 0568-63-0564

森 明雄	mori@pri.kyoto-u.ac.jp
大澤 秀行	ohsawa@pri.kyoto-u.ac.jp
杉浦 秀樹	sugiura@pri.kyoto-u.ac.jp
真方 栄子	makata@pri.kyoto-u.ac.jp

思考言語分野 Fax: 0568-62-2428

松沢 哲郎	matsuzaw@pri.kyoto-u.ac.jp
友永 雅己	tomonaga@pri.kyoto-u.ac.jp
田中 正之	mtanaka@pri.kyoto-u.ac.jp
酒井 道子	sakai@pri.kyoto-u.ac.jp

認知学習分野 Fax: 0568-62-9552

小嶋 祥三	kojima@pri.kyoto-u.ac.jp
正高 信男	masataka@pri.kyoto-u.ac.jp
南雲 純治	nagumo@pri.kyoto-u.ac.jp
酒井 道子	sakai@pri.kyoto-u.ac.jp

行動発現分野 Fax: 0568-63-0563

三上 章允	mikami@pri.kyoto-u.ac.jp
中村 克樹	knakamur@pri.kyoto-u.ac.jp
脇田 真清	mwakita@pri.kyoto-u.ac.jp
三輪 隆子	tmiwa@pri.kyoto-u.ac.jp
鈴木 冬華	ysuzuki@pri.kyoto-u.ac.jp

器官調節分野 Tel/Fax: 0568-63-0576

林 基治	hayashi@pri.kyoto-u.ac.jp
目片 文夫	mekata@pri.kyoto-u.ac.jp
清水 慶子	shimizu@pri.kyoto-u.ac.jp
金武ひろみ	kanetake@pri.kyoto-u.ac.jp

遺伝子情報分野 Fax: 0568-62-9557

竹中 修	takenaka@pri.kyoto-u.ac.jp
平井啓久(兼)	hirai@pri.kyoto-u.ac.jp
中村 伸	snakamur@pri.kyoto-u.ac.jp
浅岡 一雄	asaoka@pri.kyoto-u.ac.jp
宮田 正代	miyata@pri.kyoto-u.ac.jp

ニホンザル野外観察施設 Fax: 0568-62-9575

渡邊 邦夫	watanabe@pri.kyoto-u.ac.jp
室山 泰之	muroyama@pri.kyoto-u.ac.jp
足澤 貞成	ashizawa@pri.kyoto-u.ac.jp
古川 のぞみ	nfurukaw@pri.kyoto-u.ac.jp
幸島観察所	Tel: 0987-77-0045/Fax: 0987-77-0251
屋久島研究林	Tel/Fax: 09974-5-2074

人類進化モデル研究センター Fax: 0568-62-9559

松林 清明	kmatsuba@pri.kyoto-u.ac.jp
景山 節	kageyama@pri.kyoto-u.ac.jp
平井 啓久	hirai@pri.kyoto-u.ac.jp
上野 吉一	okuma@pri.kyoto-u.ac.jp
Kanya Kawin	kanya@pri.kyoto-u.ac.jp
後藤 俊二	goto@pri.kyoto-u.ac.jp
鈴木 樹理	suzuki@pri.kyoto-u.ac.jp
松林 伸子	nmatsuba@pri.kyoto-u.ac.jp
三輪 宣勝	nmiwa@pri.kyoto-u.ac.jp
熊崎 清則	kumazaki@pri.kyoto-u.ac.jp
阿部 政光	Tel: 63-0588
釜中 慶朗	kamanaka@pri.kyoto-u.ac.jp
前田 典彦	maeda@pri.kyoto-u.ac.jp
加藤 朗野	akino@pri.kyoto-u.ac.jp
梅田 恵子	umeda@pri.kyoto-u.ac.jp
梅村真理子	mariko@pri.kyoto-u.ac.jp

事務部 Fax: 0568-63-0085

事務長	jimuchou@pri.kyoto-u.ac.jp
庶務掛	shomu@pri.kyoto-u.ac.jp
共同利用掛	kyodo@pri.kyoto-u.ac.jp
会計掛	kaikei@pri.kyoto-u.ac.jp
図書室	toshou@pri.kyoto-u.ac.jp

2. 予算概況

(1) 2001年度(平成13年度)経費および研究費取得状況

経費		(単位：千円)
物件費	人件費	533,594
	校費	182,906
	産学連携等研究費	18,198
	施設整備費	12,000
	計	213,104
科学研究費補助金(39件)		228,900
合計		975,598

研究費取得状況		(単位：千円)
校費	教育研究学内特別経費	4,000
	外国人研究員経費	3,102
	国際シンポジウム経費	793
	計	7,895
科学研究費補助金(39件)		228,900
奨学寄付金(4件)		7,169
合計		243,964

(2) 2001年度(平成13年度)文部科学省科学研究費補助金 内訳一覧

研究種別	研究代表者	金額 (千円)	研究課題
COE形成基礎	竹中 修	90,000	類人猿の進化と人類の成立(Evolution of Apes and the Origin of Human)
地域連携推進(1)	片山 一道	10,100	考古遺跡で出土した古人骨および動物遺物の総合台帳を整備作成する研究
特定領域(A)(2)	浅岡 一雄	8,000	内分泌攪乱物質のヒトへの影響を外挿するためのサルを用いた研究
特定領域(A)(2)	清水 慶子	2,300	植物性エストロゲン様物質が霊長類の神経分泌機構に及ぼす影響
特定領域(C)(2)	林 基治	3,000	霊長類(マカクサル) 大脳皮質の発達におけるBDNFとTrkBの作用機序
特定領域(C)(2)	中村 克樹	5,300	サル頭頂連合野における異種感覚情報の統合機序の研究
特別推進(2)	松沢 哲郎	34,000	認知と行動の霊長類的基盤
基盤(A)(1)	片山 一道	9,500	ラピタ人からポリネシア人への変容過程を探る先史学的研究
基盤(A)(2)	三上 章允	4,000	ジャワ島における色盲ザルの研究
基盤(B)(1)	茂原 信生	3,100	後氷期におけるニホンザルの成立過程の総合的研究
基盤(B)(1)	本郷 一美	4,800	動物遺存体分析による西アジア史再編：家畜化から遊牧的適応の成立まで
基盤(B)(2)	片山 一道	2,500	古代日本の争乱と武器に関する骨学および考古学的研究
基盤(B)(2)	正高 信男	4,800	ヒトを含む霊長類における音声情報の認知発達：言語と音楽を用いた比較認知研究
基盤(B)(2)	小嶋 祥三	7,900	チンパンジーの聴覚と音声に関する研究
基盤(B)(2)	川本 芳	5,400	霊長類の異種交雑にともなう遺伝的変化の研究
基盤(B)(2)	平井 啓久	7,100	マンソン住血吸虫における全BACクロームの染色体マップの完成
基盤(B)(2)	渡邊 邦夫	3,100	スラウェシマカクの種間雑種個体の繁殖異常と狭い交雑帯の形成機構
基盤(C)(1)	濱田 稯	600	ニホンザルに見られる季節性機序の解明
基盤(C)(2)	景山 節	1,400	霊長類の食性に対応した消化酵素：ペプシノゲンの多様性と適応進化
基盤(C)(2)	中村 伸	700	好中球でのTissue Factor発現：その発現機序と病態との関連
基盤(C)(2)	林 基治	1,200	サル前頭連合野の老化に伴う脳内機能分子の遺伝子発現変化と認知機能との関連
基盤(C)(2)	鈴木 樹理	1,400	タイ国における野生霊長類をモデルとした内分泌攪乱物質の疫学的研究
基盤(C)(2)	清水 慶子	1,100	内分泌攪乱物質がサル胎児期の脳の発生・発達におよぼす影響
基盤(C)(2)	友永 雅己	2,000	社会的認知の知覚的基盤：比較認知からのアプローチ
奨励(A)	田中 正之	1,100	チンパンジーとヒトの類似性知覚と象徴化能力の比較
奨励(A)	脇田 真清	500	弁別訓練がサル大脳一次視覚野の受容野特性に及ぼす影響
奨励(A)	中村 克樹	800	非言語コミュニケーションの脳内機序 一言語機能とその左右差の進化の理解をめざしてー
特別研究員奨励費	山越(明和) 政子	1,300	ヒトおよびチンパンジーにおける模倣の発達と その生物学的基盤
特別研究員奨励費	岡本 暁子	1,300	意志決定に影響を及ぼす社会的ルールの比較研究
特別研究員奨励費	藤田 志歩	900	ヒト以外の霊長類におけるホルモンと行動：生殖関連ホルモンが行動に及ぼす影響
特別研究員奨励費	土田 順子	900	霊長類における加齢に伴う認知能力の変化と脳の構造的・機能的変化に関する研究
特別研究員奨励費	中井 将嗣	900	古代人および霊長類の古病理学的研究
特別研究員奨励費	茶谷 薫	1,200	類人猿とオナガザルのロコモーション発達
特別研究員奨励費	高橋 弘之	1,200	野生オランウータンの保全のための遺伝学的・採食生態学および繁殖生理学的研究

研究種別	研究代表者	金額 (千円)	研 究 課 題
特別研究員奨励費	加藤啓一郎	1,000	嫌悪刺激及び報酬に関わる帯状回吻側部とその線維連絡部位の役割
特別研究員奨励費	平田 聡	1,200	チンパンジーとオランウータンにおける社会的場面での道具使用の比較
特別研究員奨励費	小嶋 祥三	1,200	ニホンザルの種特異的音声の知覚に関する研究
特別研究員奨励費	竹中 修	1,000	ホミノイドにおけるY染色体遺伝子の進化
特別研究員奨励費	田代 靖子	1,100	分子生物学的手法を用いたチンパンジーの社会構造の比較と種分化に関する研究
合 計	39 件	228,900	

※金額は、間接経費を除く

(3) 2001年度(平成13年度)研究補助金等 内訳一覧(文部科学省科学研究費補助金以外)

補助金等種別	研究代表者	金額 (千円)	使 途
極東製薬工業(株)	景山 節	980	霊長類学に関する研究助成
極東製薬工業(株)	景山 節	490	霊長類学に関する研究助成
中村 伸(精神神経・血液医薬 研究振興財団)	中村 伸	980	好中球での Tissue Factor 発現：その発現機序と病態との 研連に関する研究助成
平井 啓久(米国ニューヨーク 州立大)	平井 啓久	4,719	マンソン住血吸虫ゲノムプロジェクト：BAC クローンの染色体マッピング のため
合 計	4 件	7,169	

※寄附金額は、全学共通経費(2%)を控除した金額

3. 図書

2002年(平成14年)3月末現在、本研究所図書室に所蔵されている資料は、以下のとおりである。

(1) 蔵書冊数(製本雑誌を含む)

和 書： 6,467 冊
洋 書： 13,972 冊
合 計： 20,439 冊

(2) 別刷点数

別 刷： 70,104 点

(3) 和文雑誌・新聞および中国文雑誌リスト

雑 誌 名	所 蔵 卷 号	期 間
アフリカ研究(アフリカ研究会)	1(1-2)	1963-1964
アフリカ研究(日本アフリカ学会)	1-30	1964-1987
母性衛生	26(1-2, 4), 27-29	1985-1988
Clinical Neuroscience	1(3), 2(3-4, 6-12), 3	1983-1985
治療学	7(5-6), 8(3, 6), 9(1, 3, 6), 11(1, 6), 15(5)	1981-1985
動物学雑誌	69-71, 79(11-12), 80-92	1960-1983
動物生理	1-4, 5(1-3), 6(1)	1984-1989
動物心理学研究	40-50	1990-2000
動物心理学年報	17(2), 18-24, 25(1), 26-30, 31(1), 32, 33(1), 34-39	1967-1989
ドクメンテーション研究	23-29, 30(1-3)	1973-1980
第四紀研究	1(2-4, 6-7), 2-3, 4(2-4), 5-7, 9(2), 10-11, 12(1, 4), 13(3), 14, 15(2), 16(3), 17(2), 18(2, 4), 19, 20(1-2), 21(1, 3-4), 22(1-2, 4), 23-28, 29(2)	1958-1990

雑誌名	所蔵巻号	期間
ファルマシア	22-26	1986-1990
学術月報	21(10, 12), 22-54+	1969-2001
学術の動向	1-6+	1996-2001
現代性教育研究	24(10), 36(10), 37(12)	1977-1979
言語	5, 6(1-6, 8-13), 7-18, 19(1-6, 8-12), 20-30+	1976-2001
ホルモンと臨牀	19-32, 33(1-3, 5-12), 34(1-6), 35-37, 38-40, 41(1-2, 4-12), 42(1-5, 7-12), 43(1-2, 5-12), 44-49+	1971-2001
遺傳	30(6-11, 13), 31-55+	1976-2001
週刊醫學のあゆみ	71(9), 75(5-13), 76-80, 81(1), 98(9), 127(5)	1969-1983
醫學と生物學	82, 83(1-4, 6), 84-99, 100(1-4)	1971-1980
異常行動研究会誌	11-16, 18-22, 24-31, 32(1)	1971-1993
IMAGO	4(7, 13), 5(1), 3(5, 10-11)	1992-1994
Isotope News	358-575+	1984-2002
Japanese Journal of Sports Sciences	1-4, 5(1-7)	1982-1986
人類学研究	1-2, 3(1-2), 6, 7(3-4)	1954-1960
人類學輯報	1-6, 8-12, 14, 16, 18-19, 21-25 28-36	1948-1967
人類學雜誌	56(3, 10-11), 57(3, 6-7, 10-11), 58(1, 3, 5, 7-8, 10), 59(2, 7, 9-12), 60(1, 3), 61-99	1941-1991
人類學雜誌 (復刻版)	1-60	1886-1949
人類科学	5-8, 11, 14, 18-19, 21, 27, 29-40	1952-1987
季刊人類学	1(4), 12(1), 15(4), 16(1, 3-4)	1970-1985
自主講座	1-6, 8-23, 25-34, 36-66, 71-75, 77-80, 82	1971-1978
情報処理	17(12), 18(1-4, 6-12), 19-21, 22(1-2, 4-7)	1976-1981
条件反射	1-113	1939-1973
助産婦雜誌	39(3-12), 40(2-12), 43(2-3)	1985-1989
助成研究	1-16+	1998-2002
助成財団	1, 3-28, 30, 33-35, 37-40	1987-1995
科学	38(4-12), 39-71+	1968-2001
科学朝日	28(2, 4-6, 8-11), 29-37, 38(1-8, 10-12), 39-55, 56(1-3)	1968-1996
解剖学雜誌	24(2-4), 25-27, 28(3-6), 29, 30(1-5), 31-75	1949-2000
感覚統合障害研究	1(1), 3-4, 5(1)	1988-1994
からだの科学	158	1991-1991
からだの科学 増刊	5-6, 21	1987-1989
血管医学	2(2-6), 3(1)	2001-2002
血管と内皮	7(2-6), 8-10	1997-2000
健康な子ども	17(1), 18(4, 6-9)	1988-1989
基礎心理学研究	1-2, 3(1) 4, 5(2), 9-19	1982-2001
行動科学	32(1), 33-39	1993-2001
公害研究	1(1-3)	1971-1972
こころの科学	30-32, 35, 39, 41-45, 47-48, 51-53, 55-58, 60	1990-1995
MASIS news	4(5-6, 8-11), 5(2-12), 6, 7(1-3, 5-12), 8-12, 13(1-2, 4), 14(3, 6-12), 15(1-5, 8-12), 16(2-5)	1983-1995
ミクروسコピア	2(4), 5(2-4), 6-7, 8(1-2, 4), 9, 10(1-2)	1985-1993
民族學研究 (日本民族学協会)	12(1-2, 4), 13(4)	1947-1948
民族學研究 (日本民族学会)	29-33, 35-38	1964-1974
モダンメディスン	17(3), 18(1-7), 19(7, 10)	1988-1990
Molecular Medicine	30-38+	1993-2001
モンキー	1-45+	1957-2001
日本不妊学会雑誌	21(1, 3-4), 22(4), 25(4), 29(1-3), 30, 31(1, 3-4), 32(1-2, 4), 33(1-2, 4), 34(1-2, 4)	1976-1989
日本学術会議月報	9(1), 10, 11(2, 11-12), 12(1-7, 10-12), 13-14, 15(4-11), 16(1-2, 5-11), 17, 18(1-5, 7-12), 19(1-4, 6-12), 20, 21(1-5, 7-12), 22(1-4, 6, 8-12), 23(2, 4-7), 24(5-11), 28, 29(1-6, 10-12), 30-35	1968-1994
日本平滑筋学会雑誌	12(2-3), 13(1-4)	1976-1977
日本法医学雑誌	25-26, 27(1-3, 6), 28-36, 37(1-3, 5-6), 38-48, 49(1-4)	1971-1995

雑誌名	所蔵巻号	期間
日本医事新報	2459, 2461, 2464-2466, 2476-2592	1971-1973
日本医史学雑誌	28(2-4), 29-30, 31(1-3), 32-35	1982-1989
日本内分泌学会雑誌	51(9-12), 52-53, 54(1-8, 10-12), 55-56, 57(1-3, 5-12), 58, 59(1-3, 10-12), 60(1-8), 61(4-12), 62, 63(1-3)	1975-1987
日本音響学会誌	42(4-12), 43-56	1986-2000
日本臨牀	33(6), 37(6), 39(2), 40(2, 5, 7, 12), 41(8), 43(4), 46(5), 48(11)	1975-1990
日本産科婦人科学会雑誌	26(8), 29(5, 8, 11), 30(11), 31(8, 10, 11), 32(10-11), 33(4), 34(1, 3), 35(1, 12), 36(1-8, 11-12), 37(1-11), 38(1-4)	1974-1986
日本生気象学会雑誌	16(1-2), 17-18, 19(1, 3), 20(1-2), 21, 22(1-2), 23(1-2), 24(1)	1974-1987
日本生理学雑誌	26(2), 27(2), 28(5, 8), 30(2-7, 9-12), 31-51, 52(1-6, 8-12), 56(6, 8-10)	1964-1995
日本生態学会誌	15-19	1965-1969
日本體質学雑誌	17(4-6), 18-19, 20(1-2, 4-6), 21(1-3, 5-6), 22, 23(1-4, 6), 24(1)	1952-1959
脳波と筋電図	1-6, 7(1-2, 4), 8-12, 13(2-4), 14(2-4), 15(3-4), 16-22, 23(2-4), 24(1)	1972-1996
脳研究	3-6	1949-1950
脳と神経	24-45	1972-1993
農林省林業試験場年報	45	1970-1970
林業試験場研究報告	48, 55, 75, 246-305, 307-314, 316-318, 320-321, 323-325, 327-328	1972-1984
林業試験場研究報告. 林業	331-334, 336-337, 339, 341-344, 346, 348-349, 351, 353-354	1984-1989
林業試験場研究報告. 林業・林産	355	1989-1989
臨床科学	11(1-6, 10), 13(4), 17(9), 19(6, 11), 20(3, 5, 10-11)	1975-1986
ラボラトリーアニマル	1-4, 5(1)	1984-1988
壺長類研究	1-17+	1985-2001
臨床検査	15(1, 3-12), 16-45+	1971-2001
最新医学	26-29, 30(1-11)	1971-1975
産婦人科の世界	23-24, 25(1), 34(8)	1971-1982
産科と婦人科	38(1-3, 5-12), 39(1-11), 40(1)	1971-1973
生物物理	6(1), 10(3, 6), 11-14, 15(1)	1966-1975
生物科学	28-53+	1976-2001
生物科学ニュース	65-112, 114-363+	1977-2001
生理生態	1-17	1947-1976
生体の科学	21(5-7), 22-25, 26(1-3, 6), 27-41, 42(1, 3-4, 6), 43-52+	1970-2001
神経研究の進歩	10(4), 13(4), 16-19, 21(4), 22(4-6), 24(6), 25(1-2, 5), 26(2, 5-6), 30(5-6), 31(4, 6), 32(3-6)	1966-1988
神経精神薬理	7(1-7, 9-12)	1985-1985
神経心理学	5-16	1989-2000
心理学評論	12(2), 18-19, 20(2-4), 21, 22(1-3), 23(1-3), 23(1-3), 24(1-2, 4), 25-27, 28(1, 3-4), 29(1-3), 31(1-2, 4), 32-38, 39(2-4), 40-43	1969-2000
心理学研究	39-59, 60(1-5), 61-66, 67(1-2, 4-6), 68-71	1968-2000
姿勢研究	1-11	1981-1992
自然	23-38, 39(1-5)	1968-1984
自然史研究	1	1968-1984
総合臨牀	18(5), 25(9-10), 31(2, 10), 33(11)	1969-1984
体力科学	33-38, 39(1-5), 40-41, 42(2-5), 43(2-6)	1984-1994
代謝	23-29	1986-1992
蛋白質・核酸・酵素	6(11), 7(7, 13), 8(5), 9(4-15), 10(1-6, 8, 10-16), 11-14, 15(1-4, 6-12), 16-34, 35(1-3, 5-13, 15-16), 36(2-15), 37(1-10, 12-16), 38(1-2, 4-5, 8-9, 11-14, 16), 39, 40(1-5, 7-9, 11-17), 42-44	1961-1999
東南アジア研究	1-4; 2-38+	1963-2001
土の声・民の声	84-94	1978-1979
野生生物保護	2-5+	1996-2000
在来家畜調査団報告	1-5	1964-1972
在来家畜研究会報告	6-10	1974-1983
全日本鍼灸学会雑誌	34, 35(1)	1984-1985
科学新聞	1679-1685, 1687-1756, 1758-1856, 1858-2893+	1977-2002

雑誌名	所蔵巻号	期間
地質科学 (中国雑誌)	1973-1975, 1976(1-3), 1977-1990	1973-1990
動物学報 (中国雑誌)	19-21, 22(1-2, 4), 23-40, 41(2-4), 42, 43(1-3)	1973-1997
動物学研究 (中国雑誌)	2, 3(1), 4(1, 3-4), 5(1, 3-4), 6-12, 13(1-3), 14-19, 20(2-5), 21-22+	1981-2001
人類学学報 (中国雑誌)	1(1-2), 2-20+	1982-2001
考古学報 (中国雑誌)	1973-1990	1973-1990
古脊椎動物学報 (中国雑誌)	22-39+	1984-2001
古脊椎動物与古人類 (中国雑誌)	11(1-2), 12-13, 14(1-3), 15-16, 17(1), 18-19, 20(1-3), 21(2-4)	1973-1983
植物学報 (中国雑誌)	15(1-2), 16-32	1973-1990

(4) 欧文雑誌リスト

雑誌名	所蔵巻号	期間
Abstracts (Society for Neuroscience)	3-20	1977-1994
Abstracts and Reviews in Behavioral Biology	9	1972-1972
Acta Endocrinologica	75-80	1974-1975
Acta Endocrinologica. Supplementum	181-201	1974-1975
Acta Neurobiologiae Experimentalis	30(4), 31-56	1970-1996
Acta Neurobiologiae Experimentalis. Supplementum	1	1971-1971
Acta Physiologica Scandinavica	78-137	1970-1989
Acta Physiologica Scandinavica. Supplementum	332-586	1969-1989
Acta Physiologica Scandinavica. Special Supplementum	1978	1978-1978
Advances in Enzymology and Related Areas of Molecular Biology	40-56	1974-1984
Advances in Protein Chemistry	28-36	1974-1984
African Journal of Ecology	17-39+	1979-2001
American Anthropologist N.S.	70-101, 102(2-4)+	1968-2000
The American Journal of Anatomy	139-192	1974-1991
The American Journal of Human Biology	9-13+	1997-2001
The American Journal of Human Genetics	20-69+	1968-2001
American Journal of Obstetrics and Gynecology	109(3-8), 110-147	1971-1983
American Journal of Physical Anthropology. N.S.	10-11, 13-14, 17-117+	1952-2002
American Journal of Physical Medicine	50-57	1971-1978
American Journal of Physiology	222-243	1972-1982
American Journal of Physiology. Regulatory, Integrative and Comparative Physiology	1-10	1977-1981
American Journal of Primatology	1-55+	1981-2001
The American Naturalist	106-158+	1972-2001
The American Psychologist	7(1, 3-6), 29-51	1952-1996
Analytical Biochemistry	57-135	1974-1983
The Anatomical Record	166-234, 235(1)	1970-1993
Anatomischer Anzeiger	126-173	1970-1991
Animal Behaviour	17-62+	1969-2001
Animal Cognition	1(1), 2-4+	1998-2001
Animal Learning and Behavior	1-29+	1973-2001
Animal Welfare	10+	2001-2001
Annals de la Fondation Fyssen	1-4, 7-9, 11-14	1985-1999
Annals of Anatomy	174-177	1992-1995
Annals of the New York Academy of Sciences	115(2), 117(1), 118(12, 21), 134(2), 147(4), 156(2), 157(2), 159(3), 160(1), 162(1), 164(3), 166(3), 167(1), 169(1, 3), 299, 331, 341-342, 344, 346, 370, 374, 425, 453, 473, 500, 512, 560, 620, 862	1964-1998
Annual Review of Biochemistry	1-3, 5-10, 18-19, 21-22, 25-26, 35-70+	1932-2001
Annual Review of Ecology and Systematics	1-31	1970-2000
Annual Review of Physiology	25-53, 55-56	1963-1994
Annual Review of Psychology	8-10, 16-46, 48-53+	1957-2002
Anthropological Quarterly	41-74+	1968-2001
Anthropologie	72-74, 100-102	1968-1998
Anthropologischer Anzeiger	31-53	1968-1995

雜誌名	所藏卷号	期間
Archives Italiennes de Biologie	106-113	1968-1975
Archives Suisses d'Anthropologie Generale	32-34, 37	1967-1973
Australian Journal of Zoology	22-32	1974-1984
Australian Journal of Zoology. Supplementary series	24-103	1974-1984
Behavior Research Methods and Instrumentation	1-15	1969-1983
Behavior Research Methods, Instruments, and Computers	16-33+	1984-2001
Behavioral and Brain Sciences	1-13, 15	1978-1992
Behavioral and Neural Biology	25-62	1979-1994
Behavioral Biology	7-24	1972-1978
Behavioral Ecology and Sociobiology	1-12, 13(1-3), 14-50+	1976-2001
Behavioral Neuroscience	97-115+	1983-2001
Behavioral Science	1-7, 10-22	1956-1977
Behaviour	33-138+	1969-2001
Behavioural Brain Research	2-6, 7(2-3), 8-16, 17(1-2), 18-55	1981-1993
Bibliography of Reproduction	17-26	1971-1975
Biochemical and Biophysical Research Communications	38-125	1970-1984
Biochemical Genetics	16-39+	1978-2001
Biochemical Journal. Cellular Aspects	186-216	1980-1983
Biochemical Journal. Molecular Aspects	185-215	1980-1983
Biochemical Society Transactions	8-11	1980-1983
Biochemistry	13-23	1974-1984
Biochimica et Biophysica Acta	27-36, 49, 51, 53-54, 60	1958-1962
Biochimica et Biophysica Acta. Protein Structure	P30-P68, P70-P76	1974-1981
Biochimica et Biophysica Acta. Protein Structure and Molecular Enzymology	P1-P10	1982-1982
Biochimica et Biophysica Acta. Specialized Section on Nucleic Acids and Related Subjects	55	1962-1962
Biological Conservation	43-102+	1988-2001
Biology of the Neonate	26-29	1975-1976
Blood Vessels	19-28	1982-1991
Brain	84-107, 109-115, 120-124+	1961-2001
Brain and Cognition	30-44	1996-2000
Brain and Language	3-41, 76-79+	1976-2001
Brain, Behavior and Evolution	1-52	1968-1998
Brain, Behavior and Immunity	1-3	1987-1989
Brain Research	1-312, 314-387, 389-501, 503-599	1966-1992
Brain Research Bulletin	3-17, 19-23	1978-1989
Brain Research Reviews	1-4, 5(1-2), 6-17	1979-1992
Bulletin de l'Academie Malgache N.S.	44(2), 52(1-2), 53(1-2)	1966-1975
Bulletin of the American Museum of Natural History	72(6), 231	1936-1997
Bulletin of the Psychonomic Society	1-31	1973-1993
Bulletins et Memoires de la Societe d'Anthropologie de Paris. Ser. 12	3-4, 6	1968-1970
The Canadian Journal of Neurological Sciences	4-19	1977-1992
Canadian Journal of Psychology	19-30	1965-1976
Carnivore	2(3-4), 3-7	1980-1984
Cell	52(3-4), 53(2-6), 54-65, 66(1, 3-6), 67-75	1988-1993
Child Development	62-72+	1991-2001
Cladistics	1-17+	1985-2001
Clinical Microbiology Newsletter	4(19-24), 5-6, 7(1-7, 9-24), 8-16, 17(1-15), 18(1-2, 4-24), 19-23+	1982-2001
Cognition	38-82+	1991-2001
Cognition and Brain Theory	4	1981-1981
Communications in Behavioral Biology. Pt. A.	1-6	1968-1971
Communications in Behavioral Biology. Pt. B.	1-8	1968-1971
Comparative Medicine	50-51+	2000-2001
Comptes rendus de l'Académie des sciences. Série II, Sciences de la terre et des planètes	328-333+	1999-2001
Conditional Reflex	4-6	1969-1971
Conservation Biology	14-15+	2000-2001

雑誌名	所蔵巻号	期間
Cortex	9-11	1973-1975
CSA Neurosciences Abstracts	1	1983-1983
Current Anthropology	1-42+	1960-2001
Current Contents. Behavioral, Social & Management Science	1(1-19, 21, 23-42), 2	1969-1970
Current Contents. Behavioral, Social and Educational Sciences	3-5	1971-1973
Current Contents. Life Sciences	12-15, 16(1-17, 19-52), 19-21, 22(1-2, 4-52), 23-24, 25(1-47, 49-52), 26-33, 34(1-4)	1969-1991
Current Contents. Social & Behavioral Sciences	6(6-52), 7(1-8)	1974-1975
Current Contents on Diskette (Life Science)	34-40	1991-1997
Current Contents on Diskette (Life Science) with Abstracts	37-44+	1994-2001
Current Opinion in Neurobiology	9-11+	1999-2001
Current Primate References	1967(12), 1968-1999	1967-1999
Developmental Brain Research	1-10, 12-70	1981-1992
Developmental Dynamics	193-198	1992-1993
Developmental Psychobiology	15-16, 17(1-2, 4, 6), 18-19, 22-33	1982-1998
Developmental Psychology	1-37+	1969-2001
Discussions in Neuroscience	1, 2(1, 3-4), 3(1-2, 4), 4(1-3), 6(1-2), 7(1-3), 9(1, 3-4)	1984-1993
East African Wildlife Journal	15-16	1977-1978
Ecological Monographs	40-71+	1970-2001
Electroencephalography and Clinical Neurophysiology	1-41, 48-85	1949-1992
Electromyography	11	1971-1971
Electromyography and Clinical Neurophysiology	12-18	1972-1978
Endeavour	14(56), 15-16, 24(92), 28(104-105), 29(106), 30, 31(113-114), 32-35	1955-1976
Endocrinology	90-100, 101(1-4, 6), 102-133, 134(1-5), 135-142+	1972-2001
Ethology	71-107+	1986-2001
Ethology and Sociobiology	1(1-4), 2(1), 5-17	1979-1996
Evolution	30-54, 55(1-11)+	1976-2001
Evolution and Human Behavior	18-22+	1997-2001
Evolutionary Anthropology	1(1), 2-5	1992-1996
Excerpta Medica. Sect. 1	22-24	1968-1970
Excerpta Medica. Sect. 10	24, 25(1-10)	1971-1972
Experimental Brain Research	1-30, 31(1-2, 4), 32-124	1966-1999
Experimental Neurology	1-118	1959-1992
The FASEB Journal	1-8, 9(1-11, 13-14), 10-15+	1987-2001
Federation Proceedings	29-46	1970-1987
Fertility and Sterility	23-24, 25(1-3, 7-12), 26-38	1972-1982
Folia Primatologica	1-72+	1963-2001
General and Comparative Endocrinology	46-60	1982-1985
Genetics	88-159+	1978-2001
Gorilla	8-23+	1984-2001
Hereditas	96-123	1982-1995
Hormones and Behavior	2-16	1971-1982
Human Biology	40-73+	1968-2001
Human Ecology	2-29+	1974-2001
Human Evolution	1(1-5), 2-15+	1986-2001
Human Molecular Genetics	1-8	1992-1999
Infant Behavior and Development	19-23+	1996-2000
International Immunology	1, 2(1-10)	1989-1990
International Journal of Andrology	1-12	1978-1989
International Journal of Andrology. Supplement	1-2	1978-1978
International Journal of Neuroscience	21-35, 38-64, 67-72	1983-1993
International Journal of Osteoarchaeology	1-11+	1991-2001
International Journal of Primatology	1-22+	1980-2001
IPPL Newsletter	[1-5], [10-13], 14-22, 23(1-2), 24-28+	1974-2001
IUCN/SSC Primate Specialist Group Newsletter	1-4	1981-1984
Japanese Journal of Physiology	15, 16(2-6), 17(1-3, 5-6), 18-21,	1965-1988

雜誌名	所藏卷号	期間
	22(2-6), 23-28, 29(2-4), 30-38	
Japanese Psychological Research	10-42	1968-2000
Journal of the Acoustical Society of America	83-88, [89-109]	1988-2001
Journal of the Acoustical Society of Japan (E)	7(3-6), 8-21	1986-2000
Journal of the American Veterinary Medical Association	160-163	1972-1973
The Journal of Animal Ecology	39-70+	1970-2001
Journal of Anthropological Research	29-52	1973-1996
Journal of Applied Physiology	32-41	1972-1976
Journal of Applied Physiology. Respiratory, Environmental and Exercise Physiology	42-49	1977-1980
Journal of Archaeological Science	26-28+	1999-2001
Journal of Biochemistry	63-128	1968-2000
The Journal of Biological Chemistry	249-276+	1974-2001
Journal of Biomechanics	7-13, 14(1-2)	1974-1981
Journal of the Bombay Natural History Society	58(2-3), 59(1-2)	1961-1962
Journal of Bone and Joint Surgery. American Volume	52-59	1970-1977
Journal of Bone and Joint Surgery. British Volume	52-59	1970-1977
Journal of Child Language	17-28+	1990-2001
Journal of Cognitive Neuroscience	11-13+	1999-2001
Journal of Comparative Neurology	138-310, 312(2-4), 313, 315-375	1970-1996
Journal of Comparative and Physiological Psychology	59-96	1965-1982
Journal of Comparative Psychology	97-115+	1983-2001
The Journal of Ecology	58-89+	1970-2001
Journal of Endocrinology	49-67	1971-1975
Journal of Ethology	5-7	1987-1989
Journal of the Experimental Analysis of Behavior	1-67, 68(2-3), 69-70	1958-1998
Journal of Experimental Child Psychology	51-66, 67(2-3), 68-71	1991-1998
Journal of Experimental Psychology	37-39, 40(1-2, 4-6), 41, 42(1-2, 4-6), 43, 45(1-3, 5-6), 46, 47(1-2, 4-6), 48, 57-68, 79-103	1947-1974
Journal of Experimental Psychology: Animal Behavior Processes	1-27+	1975-2001
Journal of Experimental Psychology: General	104-130+	1975-2001
Journal of Experimental Psychology: Human Learning and Memory	1-7	1975-1981
Journal of Experimental Psychology: Human Perception and Performance	1-22, 23(1-5), 24-27+	1975-2001
Journal of Experimental Psychology : Learning, Memory, and Cognition	8-15, 16(1, 3-6), 17-27+	1982-2001
The Journal of General Physiology	12-22, 71-100, 103-104	1929-1994
Journal of Human Ergology	1-14, 18(2), 20(1), 21	1972-1992
Journal of Human Evolution	1-41+	1972-2001
Journal of Immunology	136-137, 138(1-4)	1986-1987
Journal of Mammalian Evolution	1-8+	1993-2001
Journal of Mammalogy	30(1), 52-81, 82(2-4)+	1949-2001
Journal of Medical Primatology	1-30+	1972-2001
Journal of Molecular Evolution	3-53+	1974-2001
Journal of Neurochemistry	22-32, 33(1-2, 4-6), 34-43	1974-1984
Journal of Neurophysiology	29, 31-38, 87(1-4)+	1966-2002
Journal of Neuroscience	22(3-8)+	2002-2002
Journal of Neuroscience Methods	1, 3-9	1979-1983
Journal of Physiology	106-144, 145(1, 3), 146-147, 148(1-2), 149(1, 3), 150-497	1947-1996
Journal of Reproduction and Fertility	32-120	1973-2000
Journal of Speech and Hearing Research	34-35, 36(1, 3-6), 37-38, 39(3-6)	1991-1996
Journal of Speech, Language, and Hearing Research	40-44+	1997-2001
The Journal of the Royal Anthropological Institute	1-7+	1995-2001
Journal of Theoretical Biology	56-69, 196-213+	1976-2001
Journal of Tropical Ecology	1-15	1985-1999
Journal of Vascular Research	29-38+	1992-2001
The Journal of Wildlife Management	33-65+	1969-2001
Laboratory Animal Care	20	1970-1970
Laboratory Animal Science	21-49	1971-1999

雜誌名	所藏卷号	期間
Laboratory Animals	1-28, 29(2-4), 30-34+	1967-2000
Laboratory Primate Newsletter	4-34, 35(1, 3-4), 36-40+	1965-2001
Learning and Motivation	22-32+	1991-2001
Life Sciences. Pt. 1	11, 12(1-9)	1972-1973
Malayan Nature Journal	17, 18(1)	1963-1964
Mammalia	44-62, 63(1-2, 4), 64-65+	1980-2001
Man N. S.	3-29	1968-1994
Memory and Cognition	1-19, 20(1-5), 21-29+	1973-2001
Molecular Biology and Evolution	14(1, 3-12), 15-16	1997-1999
Molecular Brain Research	1, 3-16	1986-1992
Molecular Ecology	8	1999-1999
National Geographic	146-200+	1974-2001
Natural History	102(3-12), 103-105, 106(1-2)	1993-1997
Nature	166-180, 185-415+	1950-2002
Nature Genetics	1-11, 12(1-3), 13-30+	1992-2002
Nature Neuroscience	2-4+	1999-2001
Nature. New Biology	229-246	1971-1973
Nature. Physical Science	229-246	1971-1973
Neural Networks	5(1, 3, 4-6), 6(5-8), 7-8, 9(1-2, 4-6), 10-11, 12(1-3), 13(1-10)	1992-2000
Neurobiology of Aging	15-19	1994-1998
Neurobiology of Learning and Memory	63-76+	1995-2001
Neuroendocrinology	7-50	1971-1989
Neuropharmacology	25-31	1986-1992
Neuropsychologia	1-36	1963-1998
Neuroreport	2(1-2, 7-8), 3(1, 7, 9-12), 4(1-3, 5-7, 10-12)	1991-1993
Neuroscience	1-70, 71(1-2)	1976-1996
Neuroscience Abstracts	2	1976-1976
Neuroscience Letters	1(1, 5), 2-140, 142-146, 147(1)	1975-1992
Neuroscience Letters. Supplement	1-29, 33, 39, 42	1978-1992
Neuroscience Research	1-40	1984-2001
Neuroscience Research. Supplement	1-14, 16, 21	1985-1997
Neuroscience Research Communications	1-5, 6(1)	1987-1990
Neuroscience Research Program Bulletin	9-12, 13(1-3), 14(1-2), 15-17	1971-1979
Nucleic Acids Research	19-25, 26(2-24), 27	1991-1999
Oikos	25-83	1974-1998
Oryx	12-13, 14(1-4), 15(1-5), 16(1-3)	1973-1982
Perception	28-30+	1999-2001
Perception and Psychophysics	19-63+	1976-2001
Perceptual and Motor Skills	28-43	1969-1976
Physics Today	41(9-12), 42-44, 45(1-5, 7-12), 46-47, 48(1-10, 12), 49(1-2, 5-12), 50(1-2, 4-12), 51, 52(1-5, 7-10, 12), 53, 54(1-8)	1988-2001
Physiological Psychology	1-14	1973-1986
Physiological Reviews	50-69, 70(1), 76-81+	1970-2001
Physiological Zoology	45-53	1972-1980
The Physiologist	13-18, 19(1, 4), 20, 22-23, 24(1-4, 6), 26	1970-1983
Physiology and Behavior	1-48, 49(1-3)	1966-1991
Physiology and Ecology Japan	18-31	1981-1995
Primate Conservation	5-9	1985-1992
Primate Eye	30-57, 59-64, 66-72+	1986-2000
Primate News	[5-24]	1967-1990
Primate Report	1-13, 15-61+	1981-2001
Primates	1-42+	1957-2001
Proceedings of the Australian Physiological and Pharmacological Society	1(1-2), 2(1), 3(1), 4(2), 5(1-2), 6-12, 13(1), 14(2)	1970-1983
Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America	14-15, 65-67, 71-79, 80(1-13, 15-24), 81-98+	1928-2001

雑誌名	所蔵巻号	期間
Proceedings of the Royal Society of London. Ser. B, Biological Sciences	175(1039-1041), 176(1042)	1970-1970
Prostaglandins	1-13	1972-1977
Psychobiology	15-26	1987-1998
Psychological Abstracts	39-62, 64-68, 69(4-6), 70	1965-1983
Psychological Bulletin	38(2-3, 5-8), 40-86, 87(1-3), 88-127+	1941-2001
Psychological Review	17(1-2), 54, 56(1, 3-6), 57-59, 60(1-2, 4-6), 62-63, 64(3-6), 65-108+	1910-2001
Psychonomic Bulletin and Review	1-8+	1994-2001
Psychonomic Science	1-11, 12(1-4), 13(4-6), 14-29	1964-1972
The Quarterly Journal of Experimental Psychology Section A	43-54	1991-2001
The Quarterly Journal of Experimental Psychology Section B	43-54	1991-2001
Recent Literature of Mammalogy	55-66	1974-1985
Reproduction	121-122+	2001-2001
Researches on Population Ecology	8-9	1966-1967
Science N. S.	151-295+	1966-2002
Scientific American N.S.	126-151, 217(4-6), 218, 219(1-3, 6), 220-285+	1921-2001
The Scientific Reports of the Whales Research Institute	1-5, 10, 16-38	1948-1987
The Scientist	2-3, 4(1, 14)	1988-1990
Southwestern Journal of Anthropology	24-28	1968-1972
Soviet Anthropology and Archeology	6(4), 7-18	1967-1979
Soviet Psychology	6(3-4), 7-8, 9(1-2)	1968-1971
Species	25-29	1995-1997
Symposia of the Zoological Society of London	1-4, 8, 10, 13-15, 17-18, 21, 23-24, 26, 33, 46, 48-49, 51, 60	1960-1988
Systematic Biology	41-50+	1992-2001
Systematic Zoology	25-40	1976-1991
La Terre et la vie	30-36, 37(1-2), 38(1-2), 39-54	1976-1999
Trends in Neurosciences	1-3, 4(1-6, 8-12), 5(1-11), 6(1-7, 9-12), 7(1-10, 12), 8-10, 11(1-3, 5-9, 11-12), 12(1-7, 9-12), 13(2, 4-6, 8-12), 14(3)	1978-1991
Vision Research	1-39	1961-1999
Wildlife Monographs	19-148+	1970-2001
Wildlife Society Bulletin	1-3, 23-29+	1973-2001
Yearbook of Physical Anthropology	3-8, 10-11, 13-15, 18-44+	1947-2001
Zeitschrift fur Morphologie und Anthropologie	59(3), 60-82, 83(1)+	1967-2001
Zeitschrift fur Säugetierkunde	1-3, 4(1-2, 4-6), 5-7	1926-1932
Zeitschrift fur Tierpsychologie	1, 52-70	1937-1985
Zeitschrift fur Versuchstierkunde	14-20	1972-1978
Zoological Science	1-18	1984-2001
Нейрофизиология	2-4, 5(2-6), 6-7	1970-1975

(5) 継続図書リスト

書名	所蔵巻号	期間	請求記号
Advances in Child Development and Behavior	1-28+	1963-2001	159.92 A
Advances in the Study of Behavior	1-31+	1965-2002	159.929+591.5 A
Evolutionary Biology	1-32+	1967-2000	574/578 E
Modern Quaternary Research in Southeast Asia	1-16+	1975-2000	551.79(59) M
Nebraska Symposium on Motivation	16-47+	1968-2001	159.94 N
The Psychology of Learning and Motivation	1-40+	1967-2000	159.94+159.95 P

(6) 霊長類研究所図書室利用規定

I. 開室時間と休室

1. 開室時間

平日：9時から17時まで。

2. 休室

土曜日、日曜日、国民の祝祭日、年末・年始は休室とする。

その他の臨時休室は、その都度掲示する。

II. 閲覧

1. 閲覧者の資格

- 1) 本研究所の所員。
- 2) 本研究所の共同利用研究員で、閲覧者カードを提出する者。
- 3) 1), 2) 以外の、京都大学に所属する者で、所属図書施設の紹介のある者。
- 4) 本研究所教職員の紹介のある者。

2. 閲覧

- 1) 閲覧者は図書室内で図書（単行本、雑誌、その他の資料）を自由に閲覧できる。
- 2) 閲覧後の図書は必ずもとの場所にもどす。

III. 貸出および返却

1. IIの1の1)及び2)の該当者は、下記に従い図書を借用できる。すべての借用資料は、原則として所外に持ち出すことはできない。

1) 借用資料の種類と借用方法

a. 単行本

- (1) 単行本は1カ月間借用できる。
- (2) 借用時には、ブックカードおよび代本版用紙に必要事項を記入する。ブックカードは所定の箱に入れ、代本版用紙は代本版の背に挿入して、書架上の本のあった位置に置く。

b. 製本雑誌

- (1) 製本雑誌は3日間借用できる。
- (2) 借用方法は単行本に準じる。

c. 未製本雑誌

- (1) 未製本の雑誌は15時から翌朝10時までの間に限り借用できる。
- (2) 借用時には貸出カードに必要事項を記入する。

d. 別刷

(1) 別刷は開室時間中に図書室内でのみ利用できる。

(2) 利用後は、返却台の箱に返却する。

e. 他機関からの借用資料

(1) 他機関からの借用資料は、開室時間中の図書室内での利用に限る。

(2) 利用後は図書係員に返却する。

2) 参考図書その他禁帯出扱いの図書は貸出さない。

3) 借用中の資料を転貸してはならない。

4) 再手続きをすることにより貸出期限の延長ができる。ただし、他に借用希望者がある時は、そちらを優先する。

5) 借用後の図書は返却台に返却する。

2. IIの1の3)の該当者は、所属の図書施設を通じて借用を依頼することができる。借用資料は単行本のみで、所属図書施設内での利用に限る。

借用期限は2週間とするが、本研究所所員からの要請があった場合には、借用期限内であっても、速やかに返却することとする。

IV. 総点検および長期貸出

1. 毎年1回図書の総点検を行う。この時は、貸出期限内外を問わず、すべての図書を返却する。

2. 総点検期間中、原則として図書室は休室とする。

3. 図書委員会により研究室等への備え付けが認められた時は、長期貸出扱いとする。長期貸出期間は1年で、長期貸出扱いの更新は総点検時に行う。

V. その他

1. 資料を紛失したり汚損した場合は、代本または相当の代金で補わなければならない。

2. 借用資料を期日までに返却しなかった場合、以後の貸出を一定期間停止されることがある。

3. 書庫および閲覧室内は禁煙とする。

(昭和51年制定、
平成10年7月8日一部改正)

4. 資料

霊長類研究所が所蔵する資料は、骨格標本、液浸標本、化石模型などからなり、外部の研究者にも基本的にすべて公開されている。標本の多くはデータベース化されており、資料委員会の許可にもとづいて利用希望者に提供され、研究遂行上の必要に応じて貸し出しもおこなっている。他機関所蔵の資料との交換も受け入れている。

(1) 霊長類骨格資料 (表1)

平成14年(2002年)3月末現在、資料委員会のデータベースに登録された霊長類骨格標本は表1の通りである。その数は約7,000点近くにのぼり、大部分はマカク類を中心とした旧世界ザルの標本である。マカク類のなかでも特にニホンザルの標本は、質・量ともに他の追随を許さないものである。その他に、新世界ザルの標本も約1,400点保有している。類人猿、および原猿類(＋ツパイ)の標本は、それぞれ数十点ずつである。

(2) 霊長類以外の骨格標本 (表2)

霊長類以外にも、哺乳類を中心に1,400点近い骨格標本を所蔵している。内訳は、タヌキ、キツネ、ツキノワグマ、テン、イタチ、イノシシ、シカ、カモシカなど日本産哺乳類が多い。日本産の野生哺乳類が減っている現在、これらは貴重な資料である。

骨格標本はすべて研究所新棟4階と本棟地下の骨格資料室において、移動式標本架にならべて保管されている。標本は種ごとに分類され、種内では標本番号にしたがって配列されている。利用希望者は、資料室に設置されたコンピューター上で骨格標本データベースを検索することができる。データベース上で利用できる情報は、標本番号、種番号、属名、種名、登録日、性別、体重、座高、前胴長などである。

(3) 液浸標本

本棟地下の液浸資料室に各種霊長類のホルマリンもしくはアルコールで固定された液浸標本が数百点保管されており、共同利用研究者などを対象に、研究・教育目的で提供されている。これらについてもデータベース化が進められている。

(4) その他

以上の他に、被毛標本数十点が保有されている。

資料委員会は国内外の多くの研究者がこれらの資料を利用して研究を進めることを希望しており、利用希望者の要請にできるだけ応えたいと考えている。そのため、上記のように研究所の資料についてデータベース化など利用環境の整備に努めており、毎年国内外の研究者らによって骨格標本や液浸標本が研究・教育用の資料として活用されている。標本の利用許可については、非破壊的な使用目的の場合は簡便な手続きで済むようにしているが、標本の破壊が必要だったり破損の恐れのある利用の際は資料委員会への十分な事前説明が必要である。

資料委員会は新しい標本の作製、受け入れもおこなっており、毎年標本数は増加している。資料を一層充実させるため、野外調査などの際に、霊長類その他の標本の採集にご協力いただきたい。

備考：資料委員会では、霊長類研究所資料室で登録・保管する他、データのみ登録も受け付けています。また、標本管理者の移籍・退職などによって、管理困難となった標本の取り扱いについても相談を受けます。霊長類研究所資料委員会(委員長 國松 豊)までご連絡ください。

(文責：國松 豊)

2001年(平成13年)度末 所蔵骨格資料

表1 霊長類骨格資料

和名	学名	標本数
類人猿	Hominoidea	75
テナガザル属	<i>Hylobates</i> spp.	50
チンパンジー属	<i>Pan troglodytes</i>	22
ゴリラ属	<i>Gorilla gorilla</i>	2
オランウータン属	<i>Pongo pygmaeus</i>	1
旧世界ザル	Cercopithecoidea	5426
マカク属	<i>Macaca</i> spp.	3768
ラングール属	<i>Presbytis</i> spp.	176
コロブス属	<i>Colobus</i> spp.	362
コバナテングザル属	<i>Simias concolor</i>	132
グエノン属	<i>Cercopithecus</i> spp.	558
パタス属	<i>Erythrocebus patas</i>	15
マンガベイ属	<i>Cercocebus</i> spp.	15
ヒヒ属	<i>Papio</i> spp.	383
マンドリル属	<i>Mandrillus</i> spp.	17
新世界ザル	Ceboidea	1409
リスザル属	<i>Saimiri sciureus</i>	985
ヨザル属	<i>Aotus trivirgatus</i>	54
ティティ属	<i>Callicebus</i> spp.	49
ホエザル属	<i>Alouatta</i> spp.	48
クモザル属	<i>Ateles</i> spp.	7
ウーリークモザル属	<i>Brachyteles</i> spp.	3
ウーリーモンキー属	<i>Lagothrix</i> spp.	16
オマキザル属	<i>Cebus</i> spp.	81
サキ属	<i>Pithecia</i> spp.	13
ウアカリ属	<i>Cacajao calvus</i>	1
ゲルディモンキー属	<i>Callimico goeldi</i>	1
ピグミーマーモセット属	<i>Cebuella pygmaeus</i>	6
マーモセット属	<i>Callithrix</i> spp.	54
タマリン属	<i>Saguinus</i> spp.	85
ライオンタマリン属	<i>Leontopithecus rosalia</i>	6
原猿類(含ツパイ)	Prosimii & Tupaia	61
		総計 6971

表2 その他の骨格資料

和名	学名	標本数
食肉目	Carnivora	911
イヌ科	Canidae	552
ネコ科	Felidae	23
クマ科	Ursidae	132
アライグマ科	Procyonidae	4
イタチ科	Mustelidae	180
ジャコウネコ科	Viverridae	19
不明		1
奇蹄目	Perissodactyla	8
ウマ科	Equidae	6
バク科	Tapiridae	2
偶蹄目	Artiodactyla	346
ウシ科	Bovidae	50
シカ科	Cervidae	35
イノシシ科	Suidae	257
ペッカリー科	Tayassuidae	3
不明		1
げっ歯目	Carnivora	66
ネズミ科	Muridae	20
リス科	Sciuridae	33
テンジクネズミ科	Caviidae	3
ヌートリア科	Myocastoridae	1
ヤマアラシ科	Hystricidae	1
オマキヤマアラシ科	Erethizontidae	1
カピバラ科	Hydrochoeridae	1
パカ科	Agoutidae	2
不明		4
ウサギ目	Lagomorpha	10
ウサギ科	Leporidae	9
ナキウサギ科	Ochotonidae	1
食虫目	Insectivora	1
モグラ科	Talpidae	1
有袋目	Marsupialia	4
オポッサム科	Didelphidae	2
ウォンバット科	Vombatidae	1
クスクス科	Phalangeridae	1
貧歯目	Edentata	2
フタユビナマケモノ科	Megalonychidae	2
長鼻目	Proboscidea	1
クジラ目	Cetacea	9
マイルカ科	Delphinidae	9
鰭足目	Pinnipedia	12
アシカ科	Otariidae	12
		哺乳類・計 1370
		爬虫類 4
		魚類 1
		総計 1375

5. サル類飼育頭数・動態

2001年(平成13年)度末 飼育頭数

種 名	頭 数	種 名	頭 数
オオガラゴ	1	タイワンザル	10
コモンマーモセット	26	ブタオザル	2
ワタボウシタマリン	27	ベニガオザル	1
ヨザル	14	ボンネットザル	10
リスザル	5	カニクイザル	46
フサオマキザル	19	スラウエシマカク	1
ケナガクモザル	1	マントヒヒ	7
ミドリザル	4	シロテテナガザル	1
ミドリザル×パタスザル	1	アジルテナガザル	4
ニホンザル	378	チンパンジー	13
アカゲザル	205	合 計	776

2001年(平成13年)度 サル類動態表

区 分 種 名	増加	減 少 (死亡など)								
	出 産	実 験 殺	呼 吸 器 系 疾 患	消 化 器 系 疾 患	代 謝 器 系 疾 患	感 染 症	外 傷 死	そ の 他 の 疾 患	剖 検 不 能 等	
コモンマーモセット	4	3	1		1		1	3		
ワタボウシタマリン	5	1						1	1	
ヨザル	1	1								
リスザル									1	
フサオマキザル	1						1			
ミドリザル×パタスザル			1							
ニホンザル	41	30	8	2		1			4	
アカゲザル	35	27	1	2			2	2	4	
タイワンザル		3								
カニクイザル	4	3								
ボンネットザル	1									
マントヒヒ	1	1						1		
シロテテナガザル								1		
小 計	93	69	11	4	1	1	4	8	10	
合 計	93		108							

注) (減少頭数) - (増加頭数) = 差引頭数

108 - 93 = 15 (減少)

6. 人事異動

所 属	職 名	異 動		内 容	備 考
		氏 名	年 月 日		
(採用等)					
社会構造	教 授	森 明雄	2001/4/1	昇 任	生態機構分野助教授より
行動発現	助教授	中村 克樹	2001/4/1	昇 任	認知学習分野助手より
集団遺伝	助 手	田中 洋之	2001/4/1	採 用	大学院理学研究科博士後期課程修了
*センター	客員教授	M.A.Huffman	2001/4/1	採 用	外国人研究員
生態機構	助教授	M.A.Huffman	2001/9/16	採 用	*センター客員教授より
*センター	客員助教授	Kanya Kawin	2002/2/1	採 用	外国人研究員 (受入は形態進化分野)
(退職等)					
*センター	客員教授	M.A.Huffman	2001/9/15	雇用解除	外国人研究員
社会構造	助 手	鈴木 晃	2002/3/31	定 年	

*センター：人類進化モデル研究センター

7. 海外渡航

所 属	官 職	氏 名	種 別	期 間	目 的 国	目 的
センター	客員 教授	M.A. Huffman	研修	2001/4/17～5/9	イタリア	飼育霊長類の比較行動学的研究に関し て、日本国内外の共同研究成果ならびに 研究打ち合わせ
系統発生	教 授	茂原信生	研修	2001/4/18～4/24	アメリカ合衆国	真猿類の起源に関する国際シンポジウム 出席及び発表
系統発生	助 手	高井正成	研修	2001/4/18～4/24	アメリカ合衆国	真猿類の起源に関する国際シンポジウム 出席及び発表
遺伝子情報	助 手	中村 伸	研修	2001/4/21～4/26	フィリピン	サルBウイルスに関する研究連絡
野外施設	助教授	渡邊邦夫	研修	2001/4/25～5/22	インドネシア共和国	スラウェシマカク雑種個体群の野外調査
センター	助教授	上野吉一	出張	2001/4/27～5/5	アメリカ合衆国	国際会議出席、発表ならびに動物福祉に ついての研究打ち合わせ
社会構造	助 手	鈴木 晃	出張	2001/5/18～5/30	インドネシア共和国	クタイ国立公園のオランウータンの生態 学的研究
系統発生	助 手	本郷一美	出張	2001/5/21～6/25	トルコ共和国	新石器時代遺跡出土の動物遺存体の分析 と来年度の調査についての協議
遺伝子情報	助 手	中村 伸	研修	2001/5/31～6/4	大韓民国	「血管加齢と動脈硬化」に関する国際シ ンポジウムでの講演
行動発現	助教授	中村克樹	出張	2001/6/9～6/16	連合王国	第7回ヒト脳機能マッピング国際会議出 席およびヒト脳の記憶に関する研究打ち 合わせ
センター	客員 教授	M.A. Huffman	研修	2001/6/11～6/21	インドネシア共和国	インドネシア原産の薬用植物に関する資 料の収集ならびに国際ワークショップへ の参加と海外の研究者との情報交換
社会構造	助 手	鈴木 晃	出張	2001/6/14～6/20	インドネシア共和国	オランウータンの保護・研究ワークショ ップへの出席ならびに研究連絡
野外施設	助教授	渡邊邦夫	出張	2001/7/22～8/13	インドネシア共和国	スラウェシマカクの雑種個体群調査

所 属	官 職	氏 名	種 別	期 間	目 的 国	目 的
系統発生	助 手	高井正成	出張	2001/7/22～7/29	ミャンマー連邦共和国	ミャンマー国立博物館におけるの標本観察と計測
行動発現	教 授	三上章允	出張	2001/7/22～7/31	インドネシア共和国	色盲ザルの行動学的・生理学的研究および研究打ち合わせ
社会構造	教 授	森 明雄	出張	2001/7/24～8/31	サウジアラビア王国	サウジアラビアのマントヒヒの社会生態学的研究
遺伝子情報	助 手	中村 伸	研修	2001/8/5～8/9	フィリピン	サルBウィルスに関する研究連絡
センター	助 手	鈴木樹理	出張	2001/8/5～8/17	タイ王国	内分泌攪乱物質に関する調査
遺伝子情報	助 手	浅岡一雄	出張	2001/8/5～8/17	タイ王国	内分泌攪乱物質に関する調査
系統発生	助 手	本郷一美	出張	2001/8/17～10/1	トルコ共和国	遺跡の発掘と出土動物骨の分析研究と、キプロス共和国での学会出席
センター	客員 教授	M.A. Huffman	出張	2001/8/20～9/14	ドイツ連邦共和国	学会発表並びに野生チンパンジーの行動生態調査
センター	助教授	平井啓久	出張	2001/8/27～9/1	アメリカ合衆国	BACクロソンの染色体マッピングに関する共同研究
形態進化	助 手	國松 豊	研修	2001/9/1～9/7	ケニヤ共和国	ケニヤ野外調査に関する研究連絡
社会構造	助 手	鈴木 晃	出張	2001/9/3～9/26	インドネシア共和国	野生オランウータンの社会・生態学的研究
遺伝子情報	教 授	竹中 修	出張	2001/9/20～9/30	ウガンダ共和国	チンパンジーの遺伝分析用試料採取
形態進化	教 授	片山一道	出張	2001/9/20～10/29	トンガ王国	ラピタ人からポリネシア人への変容過程を探る先史学的研究
思考言語	教 授	松沢哲郎	出張	2001/9/20～9/27	アメリカ合衆国	チンパンジー学会出席並びに研究連絡
センター	教 授	松林清明	研修	2001/9/26～10/4	中華人民共和国	飼育サル類の人工繁殖に関する研究連絡
形態進化	助 手	國松 豊	出張	2001/9/28～11/1	ケニヤ共和国	中新世アフリカ霊長類化石に関する研究
野外施設	助教授	渡邊邦夫	出張	2001/10/1～10/14	中華人民共和国	金絲猴の野外調査
系統発生	助 手	本郷一美	研修	2001/10/6～10/16	ニュージーランド	国際考古動物学会 分科会に参加
系統発生	助教授	相見 満	出張	2001/10/6～11/11	ベルギー王国	ベルギー国立アフリカ博物館での霊長類の形態学的研究
野外施設	助教授	渡邊邦夫	出張	2001/10/22～11/10	インドネシア共和国	スラウェシマカクの種間雑種の野外調査
系統発生	助 手	高井正成	出張	2001/11/1～12/15	ミャンマー連邦共和国	化石発掘調査及び比較標本調査
系統発生	教 授	茂原信生	出張	2001/11/1～11/20	ミャンマー連邦共和国	化石発掘調査及び比較標本調査
遺伝子情報	助 手	浅岡一雄	出張	2001/11/1～11/12	タイ王国	内分泌攪乱物質に関する調査
器官調節	教 授	林 基治	出張	2001/11/1～11/17	アメリカ合衆国	学会出席並びに研究連絡
センター	教 授	松林清明	研修	2001/11/1～11/17	大韓民国	第2回韓国国際霊長類学シンポジウム出席・発表
思考言語	教 授	松沢哲郎	出張	2001/11/1～11/29	ドイツ連邦共和国	国際ワークショップに出席・発表及びマックスプランク進化人類学研究所で講演ならびに大型類人猿施設における資料収集、情報交換

所 属	官 職	氏 名	種 別	期 間	目 的 国	目 的
センター	技 官	熊崎清則	出張	2001/11/1～11/30	ドイツ連邦共和国	ヨーロッパの大型類人猿の飼育施設において動物福祉・環境エンリッチメントの資料収集及び情報交換
社会構造	助 手	鈴木 晃	出張	2001/11/2～12/13	インドネシア共和国	野生オランウータンの社会, 生態学的研究
系統発生	助 手	本郷一美	研修	2001/11/2～12/22	トルコ共和国	遺跡出土動物骨の分析研究
集団遺伝	助 手	田中洋之	研修	2001/11/2～12/15	マダガスカル共和国	ワオキツネザルにおける外部寄生虫感染の治療と疫学調査
センター	助教授	平井啓久	出張	2001/11/2～12/15	マダガスカル共和国	ワオキツネザルにおける外部寄生虫感染の治療と疫学調査
社会構造	助教授	大澤秀行	出張	2001/11/6～12/5	カメルーン共和国	地上性霊長類の社会生態研究
行動発現	教 授	三上章允	出張	2001/11/9～11/18	アメリカ合衆国	第31回北米神経科学大会参加・発表及び関連学術情報収集並びに細胞活動記録に関する研究連絡
遺伝子情報	助 手	中村 伸	研修	2001/11/25～12/2	フィリピン	フィリピン微生物・感染症学会でのBウイルス遺伝子ワクチンに関する講演および研究連絡
生態機構	助教授	M.A. Huffman	研修	2001/12/3～12/9	連合王国	ロンドンで開催される英国霊長類学会大会での学術発表
形態進化	助 手	國松 豊	出張	2001/12/15～1/12	タイ王国	チェンムアンにおいて化石発掘調査
形態進化	助教授	濱田 穰	出張	2001/12/20～2/1	ガボン共和国	アフリカ熱帯林に生息する大型類人猿・オナガザル類の形態学的研究
思考言語	教 授	松沢哲郎	出張	2001/12/23～1/14	ギニア共和国	野生チンパンジーの道具使用ならびに文化の研究
集団遺伝	助教授	川本 芳	出張	2001/12/28～1/13	ペルー共和国	アンデス高地のラクダ科家畜に関する遺伝学的研究
野外施設	客員 教授	李 保国	研修	2002/1/9～1/30	中華人民共和国	金絲猴の生態調査
センター	助教授	平井啓久	出張	2002/1/10～1/15	アメリカ合衆国	WHO住血虫ゲノムプロジェクト会議出席・発表及び共同研究打ち合わせ
遺伝子情報	教 授	竹中 修	出張	2002/1/17～1/23	ベトナム社会主義共和国	ベトナムの類人猿研究についての研究連絡
センター	助 手	後藤俊二	出張	2002/1/17～1/25	ベトナム社会主義共和国	ベトナムの類人猿研究についての研究連絡
生態機構	助教授	M.A. Huffman	出張	2002/1/22～2/23	タンザニア連合共和国	野生チンパンジーの野外調査
野外施設	助教授	渡邊邦夫	出張	2002/1/26～3/10	インドネシア共和国	スラウェシマカクの雑種個体群の野外調査
社会構造	助 手	鈴木 晃	研修	2002/2/14～2/22	アメリカ合衆国	オランウータン研究の比較のためのワークショップ
行動発現	教 授	三上章允	出張	2002/2/17～2/28	インドネシア共和国	色盲ザルの捕獲調査及び行動学的研究ならびに研究打ち合わせ

所 属	官 職	氏 名	種 別	期 間	目 的 国	目 的
センター	助 手	後藤俊二	出張	2002/2/17～2/28	インドネシア共和国	色盲ザルの捕獲調査及び行動学的研究ならびに研究打ち合わせ
遺伝子情報	教 授	竹中 修	出張	2002/2/17～2/28	インドネシア共和国	色盲ザルの捕獲調査及び行動学的研究ならびに研究打ち合わせ
生態機構	教 授	上原重男	出張	2002/2/18～3/15	タンザニア連合共和国	マハレに生息するチンパンジーの生態学的研究
遺伝子情報	助 手	中村 伸	研修	2002/2/21～2/28	フィリピン	フィリピン獣医学会でのBウィルスに関する講演および研究連絡
社会構造	助 手	鈴木 晃	出張	2002/2/26～3/15	インドネシア共和国	野生オランウータンの生態学的研究
系統発生	助 手	本郷一美	出張	2002/3/3～3/7	中華人民共和国	遺跡出土動物骨の計測とDNAサンプル採取
遺伝子情報	助 手	浅岡一雄	出張	2002/3/10～3/20	ベトナム社会主義共和国	内分泌攪乱物質に関する調査
遺伝子情報	助 手	中村 伸	出張	2002/3/15～3/17	大韓民国	遺伝子ワクチンに関するセミナー出席及び研究打ち合わせ
系統発生	助 手	本郷一美	出張	2002/3/20～3/31	アメリカ合衆国	アメリカ考古学会に出席，発表
行動発現	教 授	三上章允	出張	2002/3/21～3/28	インドネシア共和国	色盲ザルの行動学的ならびに生理学的研究及び研究打ち合わせ

8. 非常勤講師

(霊)幸田 正典(大阪市立大学理学研究科 教授)

「魚類の行動と社会—伝統芸と行動生態学—」

2001年10月11日(木)～10月12日(金)

(理)巖佐 庸(九州大学大学院理学研究院 教授)

「数理生物学」

2001年9月25日(火)～9月26日(水)

(理)今井 弘民(国立遺伝学研究所 助教授)

「染色体進化における新学説：最小作用説の理論と検証」

2001年10月25日(火)～10月26日(水)

(理)林 しん治(横浜市立大学大学院総合理学研究科

教授)「脳の発達・分化とエストロゲン受容体」

2001年11月19日(月)～11月20日(火)

(霊) ……生物科学専攻(霊長類学系)としての
非常勤講師

(理) ……理学研究科としての非常勤講師

9. リサーチ・アシスタント (R・A)

(氏名：採用期間)

上野 有理：2001年4月1日～2002年3月31日

打越万喜子：2001年4月1日～2002年3月31日

海野 俊平：2001年4月1日～2002年3月31日

郷 康広：2001年4月1日～2002年3月31日

猿渡 正則：2001年4月1日～2002年3月31日

下岡ゆき子：2001年4月1日～2002年3月31日

竹元 博幸：2001年4月1日～2002年3月31日

西村 剛：2001年4月1日～2002年3月31日

船越 美穂：2001年4月1日～2002年3月31日

森 琢磨：2001年4月1日～2002年3月31日

10. ティーチング・アシスタント (T・A)

(氏名：採用期間)

大橋 岳：2001年4月1日～2002年3月31日

福原 亮史：2001年4月1日～2002年3月31日

山本亜由美：2001年4月1日～2002年3月31日

(全学共通科目に係るもの)

大藪由美子：2001年7月1日～2001年9月30日

香田 啓貴：2001年7月1日～2001年9月30日

泊 賢一朗：2001年7月1日～2001年9月30日

中島 野恵：2001年7月1日～2001年9月30日

第8回：2001年9月20日（木）

自己点検・評価委員会主催「独立行政法人化を考える」
講演会 澤田佳成（大学入試センター 会計課）「大学入
試センターにおける独立行政法人化の対応について」

第9回：2001年10月4日（木）

Dr. Dorothy Fragaszy (Univ. of Georgia, USA) “Towards a
Biology of Traditions”

（文責：脇田真清）

12. 広報活動

霊長類研究所では広報委員会が主体となって、夏期（春期）セミナー、公開講座、市民公開などの催しを通じて研究所の活動を一般の方に紹介するよう努めている。また、研究所年報の作成、ホームページの公開などの広報活動もおこなっている。2001年度には、研究所を紹介する和文パンフレットの改訂も実施した。

(1) 夏期セミナー（第13回）

夏期セミナーは主に学部の3・4年生を対象に霊長類研究所が自主的におこなっているセミナーである。研究所スタッフがおこなっている研究の最新の成果やそれぞれの研究分野の特色を各部門、施設、センターの教官が講義形式で紹介した。研究所内の見学も実施した。大学院受験希望者に対しては研究所の教官と懇談する場も提供した。参加者は43名だった。

プログラム 2001年7月16日（月）～18日（水）

7月16日（月） 9:30～18:10

受付

所長挨拶・ガイダンス 小嶋祥三／総合司会

松沢哲郎（思考言語分野）

「チンパンジーの生後1年間の認知発達」

休憩

正高信男（認知学習分野） 「0歳児の言語習得」

昼食

三上章允（行動発現分野） 「霊長類の脳研究」

林 基治（器官調節分野） 「霊長類の発達と加齢」

休憩

上野吉一（人類進化モデル研究センター）

「動物実験と動物福祉：福祉的配慮と心理学的幸福の確立」

本郷一美（系統発生分野）

「化石と考古遺物から探る霊長類の歴史」

休憩

所内見学（40分×2ヶ所）

7月17日（火） 9:20～17:20

毛利俊雄（形態進化分野） 「マカクの骨学」

庄武孝義（集団遺伝分野）

「遺伝学から見たヒトの種分化」

休憩

竹中 修（遺伝子情報分野）

「霊長類の進化過程における遺伝子重複と新たな生理機能を有するタンパク質の獲得、突然変異による喪失」

昼食

上原重男（生態機構分野）

「チンパンジーの野外研究」

森 明雄（社会構造分野）

「社会構造を支える繁殖戦略とコミュニケーション」

休憩

室山泰之（ニホンザル野外観察施設）

「ニホンザルにおける被害管理」

休憩

質疑応答（講師全員）

生物科学専攻霊長類学系ガイダンス

景山 節（京都大・院・理・霊長類学系主任）

7月18日（水） 9:30～11:30

大学院受験者のための懇談会

各分野教官との懇談会（1）

各分野教官との懇談会（2）

参考図書

・京都大学霊長類研究所編 「サル学なんでも小事典」
講談社ブルーバックス 1,040円

・西田利貞、上原重男編 「霊長類学を学ぶ人のために」
世界思想社 2,400円

・イミダス特別編集 「人類の起源」集英社 1,350円

・松沢哲郎、長谷川寿一編 「心の進化」 岩波書店
2,800円

(2) 公開講座（第17回）

広く一般市民を対象にして霊長類学の成果を紹介するために、毎年8月後半に公開講座を開催している。年齢や職業もさまざまな受講者を相手に、研究所教官が霊

長類学についての講演をおこなうとともに、自分の手を動かしながら霊長類についての理解を深めてもらうために実習の時間も設けている。2001年度の参加者は59名だった。

公開講座「霊長類の進化」-霊長類研究の展開-
プログラム 2001年8月23日(木)～24日(金)
講義

8月23日(木) 10:00～15:00

濱田 穰 「霊長類の成長と発達」
友永雅己 「チンパンジーの発達」

8月24日(金) 10:00～15:00

中村 伸 「霊長類を用いたバイオメディカル研究(花粉症、遺伝子治療)」
室山泰之 「ニホンザルの保護と管理」

実習

8月23日(木)・24日(金) 15:00～17:00

形態・骨学 國松 豊
心理学 友永雅己・田中正之
サルの野外行動観察 上原重男
遺伝学 田中洋之

(3) 市民公開 (第12回)

研究所周辺の住民に研究所を紹介し、研究所の活動に理解を得るため市民公開日を設けている。研究所周辺を主対象にはしているが、現在では犬山市内各地、周辺市町村からも参加者を募集している。2001年度の参加者は61名だった。

プログラム 2001年10月21日(日) 12:50～15:30

受付

総合案内 浅岡一雄

所長挨拶 小嶋祥三

講演 正高信男 「鳴き声いろいろ、サルの世界」

所内見学(サル放飼場・展示資料室など)

(4) ホームページ

(<http://www.pri.kyoto-u.ac.jp/index-j.html>)

広報委員会は情報システム整備委員会と協力して研究所ホームページを開設し、インターネットを通じても研究・教育活動の紹介をおこなっている。年報や自己点検評価の結果などもホームページ上で公開している。

(5) 研究所見学者

2001年度の研究所見学者は以下の通りである。

2001年4月26日(木)

犬山市立城東小学校4年生2クラス約70名、
引率教諭3名

2001年5月10日(木)

宮城教育大学附属中学校3年生9名、引率教諭2名・
犬山市生涯教育課職員1名

2001年5月16日(水)

椋山女学園大学教員・学生合計9名

2001年5月24日(木)

犬山中学1年生5名

2001年5月26日(土)

可児市親子劇場約30名

2001年6月19日(火)

犬山市立城東小学校5年生2クラス約60名

2001年8月30日(木)

全日本聾唖連盟約30名

2001年9月25日(月)

中部大学付属春日丘高校生徒約100名

2001年9月25日(月)

中部大学外国人研究者・国際交流課職員約10名

2001年11月15日(木)

岐阜県高根村日和田小学校生徒8名、
教職員7名計15名

2001年11月28日(水)

岐阜県立高等学校恵那地区生物担当教員7名

2001年11月30日(金)

愛知県立高校校長会(生物・地学担当)校長4名

(6) 春期セミナー (第1回)

従来、全国の学部学生を対象とした夏期セミナーを毎年7月に実施していたが、セメスター制への移行にともない、実施時期を3月に移し、名称を春期セミナーへ変更した。2001年度にはすでに夏期セミナーをおこなっていたが、移行期の臨時措置として2002年3月7日(木)～9日(土)にも春期セミナーを開催した。

プログラム 2002年3月7日(木)～9日(土)

3月7日(木) 9:30～18:10

受付(玄関ロビー)

所長挨拶・ガイダンス 小嶋祥三/総合司会

Michael A. Huffman (生態機構分野)

「霊長類の行動生態学的研究」

松沢哲郎（思考言語分野）

「チンパンジーの親子関係，教育，文化」

昼食

室山泰之（ニホンザル野外観察施設）

「ニホンザルの保護と管理」

川本 芳（集団遺伝分野）

「ニホンザルの遺伝学的研究」

松林清明（人類進化モデル研究センター）

「生まれ変わるサル獣医学」

中村 伸（遺伝子情報分野）

「遺伝子レベルでの霊長類研究」

所内見学（40×2ヶ所）

3月8日（金） 9:20～17:2

林 基治（器官調節分野）

「霊長類脳の発達と老化」

三上章允（行動発現分野）

「霊長類の高次視覚情報処理」

杉浦秀樹（社会構造分野）

「空間構造から見たニホンザルの社会」

昼食

正高信男（認知学習分野）

「霊長類の音声と言語の進化」

高井正成（系統発生分野）

「古霊長類：化石霊長類の研究とは」

國松 豊（形態進化分野）

「霊長類の形態学とヒトへの進化」

質疑応答（講師全員）

生物科学専攻霊長類学系ガイダンス

友永雅己（霊長類学系教官会議副議長）

3月9日（土） 9:30～11:30

大学院受験者のための懇談会

各分野教官との懇談会(1)

各分野教官との懇談会(2)

参考図書

- ・京都大学霊長類研究所編 「サル学なんでも小事典」
講談社ブルーバックス 1,040円
- ・西田利貞，上原重男編 「霊長類学を学ぶ人のために」
世界思想社 2,400円
- ・イミダス特別編集 「人類の起源」 集英社 1,350円
- ・松沢哲郎，長谷川寿一編 「心の進化」 岩波書店
2,800円

広報委員会：國松 豊・森 明雄・中村克樹・脇田真清・
浅岡一雄・東 年昭（庶務掛長）・鈴木賀寿子（研究支
援推進員）

（文責：國松 豊）